

要請番号 (JL51524A32)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ケニア	G158 理科教育		個別	新規 1代目	2年	・ 2024/3 ・ 2025/1 ・ 2025/2

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育省

2) 配属機関名 (日本語)

エンブルブル高等学校

3) 任地 (カジアド郡ンゴンゴ) JICA事務所の所在地 (ナイロビ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (車 で 約 1.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先はナイロビ近郊に位置する男女共学の公立高等学校(3年制、日本の高校1〜3年生相当)である。教員数は19名、生徒数は約360名である。1クラス40〜50名程度。生徒は自宅から通学しており、約半数はスラム地域の出身である。1日9コマ、1コマ40分で時間割が組まれている。授業後は、スポーツなどの課外活動の時間が設けられている。首都近郊であるため開発が進みつつあり、人口は増加傾向にある。赤道に近いが標高が高いため、一年を通して過ごしやすい地域である。当学校の一部の教員はJICAの理数科教育強化計画プロジェクト(SMASE)に参加した経験を持ち、指導力向上に関する支援を受けている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属先の生徒達は科学に対する苦手意識が強く、それを教える教員数も足りていない。高校卒業試験の化学、生物の成績も他教科に比べて低く、半数以上の生徒は得点率は10%以下であり、ほとんど内容を理解できていない状況である。授業は教師中心の講義形式がほとんどであり、実験室と薬品はあるものの実験を取り入れた授業は少ない。配属先は授業内に実験を取り入れたり、授業後の科学クラブを立ち上げることで、生徒の科学に対する興味を引き出し、学力を向上させる事を望んでいる。また、その技術を同僚にも伝えて欲しいという理由から、JICA海外協力隊の要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先の同僚と共に、以下の活動を行う。
1.主に高校1年生と2年生の主に化学・生物を担当し、授業を行う。
2.同僚と共に実験の計画を立て、実験のサポートを行う。
3.科学クラブを立ち上げ運営に携わり、活性化を図る。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

教室、黒板、チョーク、教科書、職員室の事務机や椅子、実験室、ビーカーなどの実験器具と基本的な化学薬品

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:
・ 校長(50代女性)
・ 教頭1名(40代男性)
・ 教員 19名(化学教師3名、生物教師1名)
活動対象者:

・ 高校1年生～高校3年生

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

スワヒリ語

7) 選考指定言語

英語(レベル:B)

【資格条件等】

[免許]：（中学校又は高等学校教諭（理科））

[学歴]：（大卒）理工系 備考：同僚と同等の学歴が必要
なため

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（ ） 備考：

[汎用経験]：

・ 理科実験の経験や薬品・器具の知識

[参考情報]：

・ 化学・生物の実験観察指導経験なるべく

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（サバナ気候） 気温：（10～25℃位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（安定）

【特記事項】